第4回定例会本会議質問

福祉とくらし応援の区政に全力

ため込んだ基金は暮らし応援に
西大島再開発は住民合意で

きくち幸江議員

消費税増税に医療・介護負担増、保育の不足など、安倍政権のもとで暮らしが大変です。きくち議員は「こういう時こそ暮らしを守る自治体の役割が重要」として、政府に対し社会保障予算の削減や消費税増税の中止を求めること。また、区として過去最高にため込まれた基金を活用し、区民生活の支援強化を求めました。

来年度の予算編成では、国保・介護保険料の引き下げや保育料引き下げなどの経済的支援の拡充、地域経済の振興、格差を広げる民間委託の中止などを求めましたが、区の答弁は冷たく、政府路線への追随に終始しています。

保育園があぶない！

待機児解消が叫ばれる中、区内の認証保育所が相次いで休園、閉園となり、子どもたちや保護者には大変な事態です。

きくち議員は「安上り保育」を推進してきた政治の責任を指摘し、規制緩和や株式会社参入で劣悪になっている保育士の労働環境の調査、改善をはかること。保育の質の確保に指導、監督、支援の強化と、待機児対策は公的責任でと求めました。

「子どもの貧困」対策を急げ

「6人にひとりが貧困家庭に育つ」現状に、急ぎ対策が求められています。

きくち議員は、子どもたちの実態調査の実施と就学援助の拡充や制服代、給食費などの公費負担を増やすこと。また、保育料引き下げや医療費無料化の拡充など経済的支援の強化を行うとともに、貧困を広げる政府の格差拡大政策に反対の意見表明を行うことを求めました。

50階は高すぎる

西大島駅・羅漢寺周辺で進められている再開発計画について、近隣住民からは「50階は高すぎる」「なぜ?」という声が上がっています。

きくち議員は「敷地の三分の一は都有地」「公益を目的とする事業で容積率をいっぱいに使って高くすべきではない」「区も地権者として組合に参加し、住民要望を受け止めること」「住民合意を尊重した計画となるように」指導することを求めました。

訪問・デイサービスは在宅介護の柱
経営が成り立つ報酬単価の設定を！

正保みきお議員

4月の国の介護報酬引き下げによって、区内の小規模デイサービス事業所では、要支援1・2の単価が20%以上の削減となり、「利用を断っている」など深刻な事態となっています。正保議員は、来年4月から始まる区の新総合事業の事業費単価がさらに低く設定されていることから、「介護事業所の経営難と低賃金、人手不足にいっそう拍車をかけるだけだ」と批判。低単価案を撤回し、経営が成り立つ事業費単価の設定を求めました。

国保料・後期高齢者の保険料の引き下げを！

国保加入者の低所得・貧困化がすすむなかで、保険料の滞納世帯が加入者の3割・2万5千世帯を超えます。全国市長会も「負担も限界に達している」との認識を表明。正保議員は、高すぎる保険料の引き下げを求めました。山﨑区長は「値上げは必要」と拒否しました。

障がい児の放課後等デイサービスの利用料軽減を！

障がい児の移動支援（ヘルパー派遣）について、「通学にも利用できるようにしてほしい」との親の願いは切実です。

正保議員は、毎日送迎する親の負担は大きいとし、墨田区や荒川区のように通学も対象とするよう改善を求めました。

また、通所施設への家賃助成の継続、移転や新規開設にも助成すべき。

近隣区では無料化している放課後等デイサービスの利用料について、近隣区で無料となっている等、区独自の軽減策を求めました。

今後の議会日程

2/16	請願陳情締切日
24	本会議
25	本会議
29	2015年度予算審査
3/1～7	2016年度予算審査
8	企画総務委員会
9	厚生委員会
	建設委員会
10	区民環境委員会
	文教委員会
14	議会運営委員会
15	本会議
16	清掃港湾・臨海部特別委
17	オリンピック特別委
22	防災・まちづくり特別委
23	医療・介護保険特別委
30	本会議